

## 交通安全対策

阪神高速グループでは、交通事故を削減してより安全な高速道路とするため、交通安全対策に取り組むとともに、関係機関とも連携し交通安全啓発活動にも取り組んでいます。

### 交通安全対策基本計画の推進

#### 交通安全対策基本計画

社会状況の変化やこれまでの交通安全に関する各種取り組みの成果および課題を踏まえ、今後、交通安全対策のさらなる実効性向上や底上げを実現していくための方針を「交通安全対策 基本計画(2024-2028)」としてとりまとめました。2024年度は、本基本計画の第1期(2024~2025年度)として、リニューアル工事での安全対策の実施や、カーブ区間での効果・実績のある施策を確実に推進しつつ、特に交通事故が多発する区間などを対象に詳細分析を通じて実効性の向上を図りました。また、第2期(2026~2028年度)以降のさらなる底上げを見据え、実効性があり汎用性も高い施策の展開に向けた考え方の整理や新技術の開発、交通安全コンテンツの作成に注力していきます。



交通安全対策基本計画

#### 交通安全対策実施状況

2024年度は、14号松原線駒川付近や4号湾岸線助松JCT付近などにおいて、カーブ区間における滑り止め対策、合流部における注意喚起看板の設置、入口部におけるカラー舗装や看板による誤進入対策などの交通安全対策を実施しました。



注意喚起看板(4号湾岸線助松JCT付近)

### 交通安全啓発活動の実施

「STOP! NAGARA DRIVING PROJECT(通称SNDプロジェクト)」は、阪神高速道路(株)、西日本高速道路(株)、本州四国連絡高速道路(株)および(株)エフエム大阪の4社が協同して、高速道路での危険運転を撲滅し、交通事故ゼロを目指すプロジェクトです。スマホ操作し「ながら」や、イライラし「ながら」などの危険運転を防止するための交通安全啓発活動の一環として、2024年度は「伝えよう! 届けよう! 冬のSNDメッセージキャンペーン」を開催しました。1,750件を超える応募があり、グランプリ作品は2月8日に開催された「LIVE SDD 2025」においてお披露目され、朗読劇のテーマとなりました。そのほかにも2024年度は、ウェットティッシュなどの交通安全啓発グッズを制作し、各種イベントにて配布しました。



SND審査会